

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	乳児保育論		
担当者(Instructors)	奥原 孝子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
乳児の発達の過程を踏まえ、「乳児保育」の基本を理解する。人生始まりである乳児期にとって人的・物的・自然・社会的環境がいかに大事であるかを学び 発達援助に必要なかわりを理解する。			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	乳児保育について講義で理解し、講義時間内でのレポートで理解度を確認する。また、まとめの段階でグループワークにより自分の考えや他の人の考えを聞き、乳児保育のイメージを膨らませる。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 乳児の世界は不思議で楽しい	講義の進め方を理解してもらう。 乳児の世界を画像等で知る。	<input type="checkbox"/>
第2回	はいはい期～身体の発達と保育～	おおむね満3か月から満1歳の発達過程を知り、 保育園でどのように過ごしているかを理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	はいはい期～感情の芽生えと保育～	おおむね満3か月から満1歳の感情の芽生えを知り どのように働きかけるかを理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	よちよち期～身体の発達と保育～	おおむね満1歳から満2歳発達過程を知り、 保育園でどのように過ごしているかを理解する。	<input type="checkbox"/>
第5回	よちよち期～言葉の芽生えと保育～	おおむね満1歳から満2歳の時期に言語発達について 理解する。また、かわりかたを知る。	<input type="checkbox"/>
第6回	とことこ期～身体の発達と保育～	おおむね満2歳からの過程を知り、 保育園でどのように過ごしているかを理解する。	<input type="checkbox"/>
第7回	とことこ期～言葉と感情の表現と保育～	おおむね満2歳からの言語発達を知り、感情を表現するためのかわりを理解する。	<input type="checkbox"/>
第8回	まとめ1	グループワークにより乳児の発達について理解を深める	<input type="checkbox"/>
第9回	乳児保育と環境～人的環境の重要性～	保育園での生活を知り、いかに人的環境が重要かを理解する。	<input type="checkbox"/>
第10回	乳児保育と環境～物的・自然・社会環境～	乳児期の保育の環境構成をしり、保育園が生活の多くの時間を占めることの意義を理解する。	<input type="checkbox"/>
第11回	「食べること」の大切さ～命を守り、意欲を高める～	乳児期にいかに「食」が大事であるかを理解し、 乳児期の「食育」を知る。	<input type="checkbox"/>
第12回	「どうして病気になるの？」～子どものケア・保護者のケア～	保育園での体調不良時の対応や、保護者援助の実態を知る。	<input type="checkbox"/>
第13回	乳児保育のポイント 1	今までの学びを踏まえ、乳児保育のポイントについて学ぶ。計画・記録・評価について考える。	<input type="checkbox"/>
第14回	乳児保育のポイント 2	発達の気になる子へのアプローチの仕方や保護者援助の方法を知る。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ 2	グループワークにより保育園での乳児に対する適切な発達援助について理解を深める。	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)</b>			
平日頃から、乳児保育や幼児教育の目に見える表側である、実際の様子や考え方と、保護者の育てていく時に感じる苦勞である裏側に関心を持ち、毎回の授業内容を振り返り、より一層の理解に勤めてください。そして乳児期の自分の生活などを振り返ってください。(4時間程度)			

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

レポートについて講義の時間内で取り上げ、全体に向けてフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	乳児保育の基本を理解し、その重要性について説明できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	乳児保育のイメージができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内態度等が50%。講義内のレポートで理解度を確認します。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	0・1・2歳児の遊びとくらし (メイト)	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		